

城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL: 079-506-0955 FAX: 079-506-0956

ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

平成29年2月19日（日）

アグリステーション丹波ささやまが、2月19日（日）に神戸ハーバーランドスペースシアターで開催された兵庫県主催の「第9回地域再生大作戦元気交流会“ハーバーマルシェ”」に出展しました。

兵庫県下のまちづくり協議会、自治振興会や活性化委員会などの団体が、それぞれの活動や取り組みの紹介やPR、また自慢の特産物の展示販売などを行うもので、今回は過去最多の23団体が参加しました。

我が、アグリステーションでは、手造りの黒大豆味噌、各種ポン菓子、おかき、もちなどのほかに当日の早朝から調理した鶏牛蒡飯、おはぎ、黒豆寿司、塩おにぎりなどを出展販売しました。

都会の行楽地でのお客様相手にどんなものが望まれるか、あまり興味を示されない物はどんな商品かなどを探るといいう意味で大いに参考になりました。また他地区での商品化や活動の取り組みなどでもおおいに刺激を受けた一日でした。





平成29年1月25日（水）

篠山市では、自分達の身近な高齢者がいつまでも元気で過ごせる地域づくりを目指し、市健康課、社会福祉法人、まち協との委託契約により介護予防事業「いきいき塾」を29年度末に全市19地区立上げの予定で進めています。

地区担当者による研鑽の場でまちづくり協議会 健康福祉部 酒井優部長が立上げ後の実践状況の報告を行いました。



平成29年1月21日（土）

1月21日（土）午後、まち協文化部主催のまちづくり懇談会が、城南コミセンで開催されました。

来賓に野々村篠山市市民生活部長はじめまちづくり支援委員の皆様、畑中城南小学校教頭、藤田城南駐在所警部補らを迎え、各集落から50名以上の参加を得て始まりました。

松尾与史彦まち協会長のあいさつ、続いて酒井篠山市長のメッセージ（野々村部長代読）をいただき、本題に入りました。

今回は、第一部として野々村部長に、全国的にも画期的な事業である将来起こりうるかもしれない原子力発電所の事故に備えて、子供をはじめ全市民を対象にした安定ヨウ素剤の配布事業について説明をいただきました。

続いて第2部として、古市地区で開業されている西井クリニックの西井一雄先生に「運動と健康寿命の延伸」と題して講演していただきました。健康問題は私たちにとって重大関心事であり、ユーモアを交えながら、運動や食事、栄養などの説明を受け、みんな熱心に聞き入っていました。



平成29年1月3日（火）

アグリステーション丹波ささやま主催の新春凧あげ大会が、1月3日（火）午前10時から、前の広い田んぼで行われました。

父兄や祖父母に連れられて子供たちが集まってきました。あらかじめ準備された白地の凧50セットに、クレヨンや絵の具で思い思いの絵をかき、しっぽをつけて凧の完成です。

この季節にしては暖かい天候、少し風が弱いのが気になりましたが、早速出来上がった凧を持って、田んぼの中で凧揚げが始まりました。

バランスが悪く、くるくる回ってなかなか揚がらなかつたりしながらも、だんだんコツをつかみ見事に空高く舞上がる凧、およそ100人の祖父母や父母、子供たちが一生懸命凧あげに興じていました。





平成28年12月21日（水）

アグリステーションでは、12月21日（水）城南幼稚園児と城南小学校1年生計81名を招待し、餅つき大会を催しました。

前の広場に大きな木の臼2台と子供用の小さな臼1台を据え付け、それぞれに熱く蒸しあがった真っ白な湯気の出ているもち米を入れて餅つきが始まりました。見守る子供たちがヨイショヨイショの掛け声とともにつきあがっていきます。子供たちも順番に杵を振り上げ餅つきの体験をしました。一同早速つきあがったお餅をきな粉などにまぶして味わいました。

冬休み、お正月を前に子供たちにとって貴重な体験であったと思います。

前日からの準備から当日の進行に携わっていただいたアグリステーションのスタッフの皆さん、お手伝いいただいた城南松寿会（老人クラブ）の有志の皆さんお疲れさまでした。

